

提出順	19	発言順	19	令和 4 年 9 月 2 日
				(午前)・午後 11 時 50 分受領

(2 枚中 No. 1)

令和 4 年 9 月 2 日

(宛先) 安曇野市議会議員 平林 明

安曇野市議会議員

小林 純子

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 4 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	150 年変わらない学校に発想転換・構造転換		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

「150 年変わらない学校の構造」というのは、みんなで同じことを、同じペースで、同じようなやり方で、同質性の高い学年学級制の中で、出来合いの問いと答えを勉強するベルトコンベア型のシステムのこと (引用：苫野 一徳・哲学者、教育学者)。

150 年前、明治政府は経済と軍事を発展させ国を強くするために国民の教育が急務と考え、教育制度に効率的な学年別の一斉授業を採用し今日に至っている。当初の教育目標は果たされたが、時代が変わり、社会が変わり、人々の意識や生活も変わってきたのに、150 年前と変わらぬ学校システムでいいのか。不登校、いじめ、体罰、虐待、小1プロブレム、中一ギャップ、落ちこぼれ・吹きこぼれ、同調圧力、空気を読み合う人間関係等々、今日の学校で起こっている様々な問題は、「150 年変わらない学校」の構造的な問題ととらえることができる。

安曇野市が目指す「たくましい安曇野の子ども」。その具体的な姿として、「自ら動く児童生徒」「学び続ける姿勢を持つ教師」「地域へ飛び出す学校」3つの重点を定めているが、これらの教育目標は「150 年変わらない学校の構造」をそのままにしては、もはや実現困難と思われるので、安曇野市の学校の構造転換に取り組むことを提案する。

そこで、以下に質問する。

提出順	19	発言順	19	令和 4年 9月 2日 午前・午後 11時 50分受領
-----	----	-----	----	--------------------------------

(2枚中No. 2)

令和 4年 9月 2日

(宛先) 安曇野市議会議員 平林 明

安曇野市議会議員

小林 純子

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 4年安曇野市議会 9月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	150年変わらない学校に発想転換・構造転換		
<p>1、「150年変わらない学校の構造」～みんなで同じことを、同じペースで、同じようなやり方で、同質性の高い学年学級制の中で、出来合いの問いと答えを勉強するベルトコンベア型のシステムについて、教育長の見解は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不登校、いじめ、体罰、虐待、小1プロブレム、中一ギャップ、落ちこぼれ・吹きこぼれ、同調圧力、空気を読み合う人間関係等々、今日の学校で起こっている様々な問題と、「150年変わらない学校」の構造的な問題とがどうかかわっているか</li> <li>市の教育現場で「150年変わらない学校」の構造問題は認識されているか</li> <li>市の教育現場で「150年変わらない学校」の構造転換という発想や機運はあるか</li> </ul> <p>2、学校教育（公教育）の構造転換として、「みんな同じであるべきという発想の危うさに気付く」、「学びの個別化と協同化・プロジェクト化」、「探究をカリキュラムの中核に据える」、「通知表のためのテストをしない⇒通知表のない学校へ」等のへの取り組みについて</p> <p>3、「150年変わらない学校の構造」が続く中で、学校が「できる」「できない」、あるいは「正しさ」だけを問われる場所になっていないか、二つの事例から問う。</p>			